

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成26年度 第4回短期大学会議教育改革ICT運営委員会 議事録

I. 日 時 平成27年3月16日(月) 18:00~20:00

場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、豊田委員、小棹委員、岡本委員、三田委員、松井委員  
助言：戸板女子短期大学 坂 勇次郎氏

(事務局 井端事務局長、平田職員)

III. 検討事項

来年度の活動として、短期大学就業力コンソーシアムの取り扱いと短期大学教育改革ICT戦略会議の基本方針、委員会委員構成について主に以下の通り検討した。

1. 短期大学就業力コンソーシアムについて

コンソーシアムによる卒業生アンケートについて、改善すべき点や参加希望などを本協会加盟の短期大学にコンソーシアム参加・不参加を問わず意見を伺い、意見を参考に今後の方針を検討することにした。

なお、質問項目については案を事務局で作成し、委員長が確認の上、送付することにした。

2. 平成27年度短期大学教育改革ICT戦略会議の開催方針

短期大学を取り巻く状況として、事務局より専門職業大学に関する新聞記事を紹介し次のような意見交換を行った。

- ・専門職業大学は2年制、3年制、4年制を想定しており、3年制が多くなってくると、保育や栄養など資格試験の関連分野を除いて、専門職業大学のほうが短大よりも職業に早く就けると考えられ、短期大学の存在価値が難しくなるのではないか
- ・企業で行う社内教育なども専門職業大学で行い、企業と直結した教育内容になる一方で、学士力という教養教育は、時間的に実施が難しいため、専門職業大学学士力の育成は成り立たないのではないか。
- ・現在の短大さらには大学が、ものごとの考えるという教育をあまり行っていないので、教養教育を強みにならなくなっている。そのため、短大の強みとして、地域との結びつきや教養教育を強化していく必要があるのではないか。

そこで、平成27年度の短大会議では以下の方針のもとに開催計画を作成することにした。

- ① 専門職業大学を話題にしたテーマを設け、専門職業大学について検討した有識者会議のメンバーから専門職業大学の検討状況や差別化をするために短大教育の課題について紹介いただく。
- ② 地域・地方と連携した教育の取り組みを紹介いただくこととし、地方創生をキーワードとした国の補助金に採択されている短大などを抽出して事例候補として検討する。
- ③ 教養教育の実践例として、教養教育、地域連携教育、インターンシップなどに取り組んでいる富山短期大学に打診する。
- ④ 卒業生アンケートを実施例として、学生の満足度をあげるような教育改善などを実施してみたが、結果がどうであったのかなど事例を紹介してもらう。

本来は、コンソーシアムの卒業生アンケート活用事例を紹介できるとよいが、今回のアンケートでは卒業生の満足度は把握できたが、経営陣を説得するための当初の予測を裏切る程度の結果にはなっていないので、教育改善に役立てるまでに至っていないため、コンソーシアム参考に関係なく、卒業生アンケートを教育改善に活用している実践例を紹介いただく。アンケート活用事

例の内容は、コンソーシアムへの意見伺いの項目に追加して確認する。

- ⑤ 依頼先がない場合は、教学マネジメントに取り組んでいる短大を、本協会の情報環境調査から探して候補を調べる。

### 3. 委員会委員構成

自由が丘産能短期大学の豊田委員は大学への異動となり委員を退任されるため、後任の委員候補を探すことにした。

### 4. 次回委員会

平成27年6月8日（月）18：00より開催し、短大会議の開催計画、コンソーシアムの方針について検討することにした。